

全自柔連第1号
令和4年11月4日

駐屯地・基地司令
殿
部隊・機関等の長

全国自衛隊柔道連盟会長

第44回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会開催について（通知）

秋涼の候、貴隊におかれましては益々ご清祥のことと、慶賀に存じます。

また、平素は全国自衛隊柔道大会に対し格別のご芳情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「第44回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会」を別冊「第44回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会実施要項」のとおり、開催することとなりましたのでお知らせします。

つきましては、隊務ご多忙中とは存じますが、自衛隊柔道振興発展のため、選手等の派遣をお願いいたしますとともに、御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

添付書類：別冊「第44回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会実施要項」

第44回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会実施要項

全国自衛隊柔道連盟

令和4年11月4日

第44回 防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会実施要項

1 目的

自衛隊における柔道の振興と技量の向上を図るとともに、相互の親睦と団結の強化に資する。

2 日程

(1) 令和5年2月25日(土)

ア 0900 大会会場設置

イ 1330～1430 監督会議及び全国自衛隊柔道連盟総会

ウ 1500～1530 前日計量

(2) 令和5年2月26日(日) 個人戦(男子体重別、女子)

ア 0700～0730 計量(訓練等により前日計量に参加できない部隊のみ。)

イ 0900 開会式

ウ 0930 試合開始

エ 1210 昼食

オ 1240 決勝戦開始

カ 1330 閉会式

キ 1400 大会終了予定

ク 1400以降 大会会場撤収

3 会場

自衛隊体育学校 球技体育館(三宅記念体育館)

〒178-8501 東京都練馬区大泉学園町 朝霞駐屯地

TEL: 048-460-1711(内線4682)

部内専用線: 8-37-4682

4 主催

全国自衛隊柔道連盟

5 後援

公益財団法人 講道館

公益財団法人 全日本柔道連盟

6 参加資格

(1) 防衛省に所属し、全日本柔道連盟に登録している者

(2) 個人戦のみの試合形式とし、1人で複数種目に出場はできない。1種目のみとする。

(3) 連盟依頼の審判員以外に選手を5名以上出場させているチームは原則として1名の審判員(ライセンス「B」以上)を差し出すこと。(別紙第1に個人名を記入)

(4) 個人戦については、本年度の全日本実業柔道個人選手権大会に出場していない者(全日本実業柔道団体対抗大会及び全日本実業個人選手権大会個人戦22歳以

下の部、各地区の実業団大会の参加者を除く。)

- (5) 個人戦出場以外の参加者の範囲（大会会場に入場できる者）
監督（B級指導者資格保有者以上を推奨）、コーチ及び帯同者等を含むチーム4名までとする。（個人戦出場の参加人数は制限しない。その為、選手が帯同者の人数を超える場合は選手間での調整練習とする。）
- (6) 別紙第1「第44回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会参加申込書」

7 参加申込

令和4年12月16日（金）の締め切りを厳守の上、連盟ホームページから申込書をダウンロードし、必要事項を入力後メールで送信する。

[メールアドレス] jsdfjudo@yahoo.co.jp

[ホームページ] <http://zenji.judo.org/>

[不明事項がある場合の連絡先] 体育学校 谷口 陸曹

連盟用 080-7814-2918

個人用 090-7387-6583

8 参加料

- (1) 1人4,000円とし、到着日受付時に支払うこととする。なお、防衛省から参加費が出るチームについては、下記の口座を利用すること。また、振り込みの際には、事務局で送付先相手を確認できるように必ずチーム名又は駐屯地・部隊名を明記し、電話でも連絡すること。（例：朝霞支部防衛省共済組合・・・あるいは朝霞チーム）参加費は納入後いかなる場合も返金しない。（コロナ感染により、不参加の場合も同様）

[振込先]

ゆうちょ銀行 記号 10340 番号 87315421

口座名義：全国自衛隊柔道連盟

又は

埼玉りそな銀行 和光支店 口座番号 普通 4001847

（振込期限：参加申込〆切日と同日）

- (2) 別紙第2「第44回 防衛大臣杯 全国自衛隊柔道大会参加費内訳」

9 試合種目

- (1) 全般

男子個人戦-60kg、-66kg、-73kg、-81kg、-90kg の5階級、女子個人戦体重別又は無差別級とする。

なお、女子個人戦体重別は、参加申し込み状況により設定の有無及び設定する場合の階級区分を決定する。

- (2) 個人戦

選手の体重測定は、令和5年2月25日（土）会場準備終了後（1500～1530予定）及び2月26日（日）0700から0730の間自衛隊体育学校球技体育館において本計量1回を行う。試合に出場するには、いずれかの日時に必ず計量を受けて合格する必要がある。ただし計量はどちらか1回のみとする。（この際、本人確認の為、身分証明書証を携行すること。）不合格のものは、出場できない。なお、この間、予備の体重計（別途準備）による仮計量は随時可とする。

10 試合方法

- (1) 試合方法は、トーナメント方式で行い、優勝、準優勝、第3位を決定する。
- (2) 試合形式
時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦を行い勝敗を決定する。
- (3) 試合時間
4分間とする。

11 審判規定等

(1) 審判規定

国際柔道連盟試合審判規定（2020～2024）及び全国自衛隊柔道大会申し合わせ事項による。審判規定及び申し合わせ事項については、監督会議において説明する。

(2) 柔道衣

ア 2015年からの全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上下／赤文字・赤粋）（帯／赤文字又は黒文字・赤粋又は青粋）を着用しなければ大会に出場できない。

イ 柔道衣は白色のみを使用する。帯は黒帯又は白帯のみとし、女子の白線入りの帯は認めない。

ウ 柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。選手は試合場に入る前までに自己責任の下で主催者が用意した「柔道衣測定器」で柔道衣の大きさを確認しなければならない。試合開始後に疑義があった場合、審判員は「柔道衣測定器」を用いて検査するとともに、違反が認められる場合は当該選手を「反則負け」とする。

- (3) 「ゼッケン（名字とチーム名入り）ヨコ 30～35cm タテ 25～30cm」を柔道衣に着用する。布地は白地（晒 太綾）、名字（姓）は上側 2/3、チーム名は下側 1/3 に横書き、書体は太いゴシック体又は、楷書体、男子は黒色、女子は赤色、縫い付けの位置は、襟元から 5～10cm 下とし、対角線にも強い糸で縫い付けるものとする。なお、ゼッケンのない選手は大会に出場できない。

(4) 予備柔道衣

主催者側では準備しない為、各自で2着分用意する事を推奨（破れ、出血等）

(5) 紅白帯

試合時の赤白帯は各チームそれぞれの帯を持参すること。主催者側では準備しない。

12 審判

- (1) 審判員は、全国自衛隊柔道連盟の委嘱（審判ライセンス区分及び申し合わせ事項に関する各統制、定年年齢管理の容易性から練馬区柔道会及びA級以上の審判資格を有する自衛隊OBに委嘱）及び5名以上の選手を出場させている基地・駐屯地の代表現職（部内審判育成の観点）自衛官（B級以上の審判資格を保有、原則1名）によるものとする。委嘱の調整のため、参加部隊は「大会審判員届」により令和4年12月16日（金）までに審判員を届け出るものとする。
- (2) 審判会議を令和5年2月26日（日）0830から自衛隊体育学校球技体育館内会議室において行う。審判員は時間に併せて集合するものとする。
- (3) 審判員は、指定審判服を着用する。

(4) 別紙第3「大会審判員届」

13 表彰

- (1) 個人戦の優勝者、第2位及び第3位に賞状・メダルを授与する。
- (2) 男子優秀選手を1名選出し、大会会長杯・賞状を授与する。
- (3) 女子無差別級の優勝者に、防衛副大臣杯を授与する。

14 監督会議及び全国自衛隊柔道連盟総会

- (1) 令和5年2月25日(土)1330から1430まで「自衛隊体育学校球技体育館内会議室」において行うので、各チームの監督もしくは代表者は必ず出席すること。
- (2) 総会及び監督会議に諸事情により参加できないチームは、委任状を提出すること。
- (3) 別紙第4「委任状」

15 選手変更

受付時期及び場所は、監督会議終了後の令和5年2月25日(土)1430から1500まで「自衛隊体育学校球技体育館内会議室」。又は、試合当日の令和5年2月26日(日)0700から0730まで「試合会場」とする。

16 開閉会式

「開会式」「閉会式」とともに各チーム代表者及び受賞者のみの参列とすること。この際、入賞者は柔道衣を着用すること

17 功労隊員等の推薦

- (1) 本大会に永年貢献し、第45回大会(令和6年2月予定)までに定年になる自衛隊員の推薦(所属、階級、氏名、出場回数、電話番号)
- (2) 本大会に永年貢献された部外者の推薦
- (3) 別紙第5「連盟表彰(感謝状・顕彰)推薦書」
(部外者については本別紙を準用)
※ 各チーム功績・貢献等を十分考慮して選考、推薦されたい。(役員・審判員等)

18 講道館杯出場者の選考基準

- (1) 次の基準を満たす者から全国自衛隊柔道連盟が出場選手を選考する。
 - ア 男子は各階級優勝者
 - イ 女子は、個人戦の優勝者
 - ウ 令和5年講道館杯開催時点で、現職自衛官であること。
- (2) 欠場は基本的には認めない。ただし、災害派遣、教育入校、遠洋航海等の任務及び重度の怪我、突発的な疾患等が発生し出場が困難で欠場する際、所属部隊の監督等は、講道館杯欠場届を作成し全国自衛隊柔道連盟事務局に送付(怪我、疾病等の場合は医師の診断書を同封)するものとする。

19 宿泊・給食・外出等

- (1) 宿泊・給食について、希望するチームは、「宿泊・給食予定表」を提出するこ

と。期間は、原則として令和5年2月24日（金）から2月27日（月）朝までとする。ただし最終日の宿泊は、朝の外来最終清掃及び管理人による点検に立ち合いができるチームに限る。

この際、宿泊可能数に限度がある為、審判員及び勤務員差出し人数が多いチームを優先する。宿泊不可な場合は連盟から連絡する。

- (2) 大会当日の昼食について、弁当が必要なチーム（選手、監督、コーチ等含む）は、ホームページから有料弁当（参加費とは別途500円徴収）注文書をダウンロードし、連盟にメールを送信すること。支払いは、到着日受付時とする。

尚、参加部隊で、審判員、係員等の支援者への弁当は実行委員会が準備するため、注文書への計上は不要である。

- (3) 別紙第6「宿泊・給食予定表」
(4) 外出については原則禁止とする。通院等やむを得ない場合については大会本部まで連絡すること。

20 大会参加選手の応援について

声を出しての応援及びバルーンスティック等を使用する応援は飛沫防止のため禁止とする。

21 大会受付・会場準備・大会当日・撤収

(1) 大会受付

ア 日 時

令和5年2月24日（金）以降、到着チームごと。

イ 場 所

自衛隊体育学校 球技体育館

ウ 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置について。

(ア) 健康観察

大会会場に出入りする者は、受付日から10日前までの健康観察を実施し、その体温結果を受付時に提出するとともに、各チームで準備したIDカードに検印を受ける。

a 別紙第7「第44回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会 健康記録表兼同意書」

b 別紙第8「第44回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会ID」

(イ) 新型コロナウイルス検査の受検（抗原検査）

a 受付後、車両で移動した部隊等は、その車両で抗原検査を受検し、公共交通機関で移動した部隊等は、勤務員が誘導する検査会場で検査を受検する。

この際、抗原検査キットについては大会本部で準備する。また、検査で陽性反応が出た場合は、勤務員の指示により、自衛隊病院等でPCR検査等を受検する。

b 細部は、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための防衛省・自衛隊の活動に関する方針について（通達）」(防官文(防)第391号(令和4年10月11日))に基づき、受付時に勤務員が指示する。

(2) 会場準備

ア 日 時

令和5年2月25日（土）0900～1200

イ 場 所

自衛隊体育学校 球技体育館（三宅記念体育館）

ウ 実施部隊

大会参加者全員

(3) 大会当日

球技体育館に入退館する際は、IDカードを首に下げて移動する事

(4) 会場撤収

ア 日 時

令和5年2月26日（日）閉会式終了後

イ 実施部隊

大会参加者全員

ウ 実施要領

(ア) 令和5年2月26日（日）閉会式終了後、大会本部前に集合、点呼後撤収要領について連絡する。

(イ) 撤収完了後、各部隊代表者は大会本部前に集合し点呼後解散とする。

(5) 当日準備・撤収に参加できない部隊は、会場準備・撤収免除申請書に必要事項を記入し、提出すること。

(6) 別紙第9「会場準備・撤収免除申請書」

※ 大会参加とは会場準備から会場撤収までのことである。各チームの責任者及び監督はその趣旨を理解し部隊内外との調整等を進められたい。